

富岡中

地域に根ざした芸能守る



これがイチオシ

スズランを大切な人へ

富岡中学校では70年間続く「すずらん活動」があります。この活動は、地域に自生しているスズランの花を採取し、大切な人に贈るものです。1954年、東京に集団就職した姉へ故郷の香りを届けようと、女子生徒が修学旅行先にスズランの花を持参したのが始まりです。70年たった今でも、校外学習先や、修学旅行先で感謝の手紙を添えて贈呈しています。

私たちは「思いやり・助け合い・奉仕・感謝・自然愛」を「すずらの心」として大切に受け継いでいます。

学校名 川崎町立富岡中学校
所在地 川崎町支倉落田郷山8の3
創立 1947年
電話 0224(86)2007
校長 鈴木 直美
生徒 34人

富岡中学校では、1980年から「支倉豊年踊り」の学習を行っています。「支倉豊年踊り」は約400年前から、郷土の支倉地区に受け継がれている伝統文化です。もともとは五穀豊穡の祈願や収穫への感謝のために老若男女が集い、盃蘭盆に踊られていたもので、支倉常長踊り保存会の初代会長「佐山吉右衛門さん」が形や衣装などを改め、現在の踊りを完成させました。私たちは毎年、保存会の方々からご指導をいただき、文化祭で地域住



支倉豊年踊りの伝統に取り組む生徒たち

編集委員 田村渉、高山久蘭々、中島圭梧(3年)
佐藤菜奈、佐藤希音(2年) 指導教員 国吉翔子

伝統の「支倉豊年踊り」

民や保護者の方々へ披露しています。文化祭で披露する際は、踊りだけでなく、大太鼓や小太鼓、篠笛などの楽器を使って、歌やお囃子なども行います。発表は3部構成で、第一部では大太鼓のみの演奏、第二部では中学生だけの演奏や踊り、第三部では地域の方々も一緒に交えて豊年踊りをみんなで踊ります。

初代会長の願いでもあった「地域に根ざした郷土芸能」を目指して、私たちも大切に受け継いでいきたいと思っています。

わが校わがまち スクール通信



次回は 岩切小(仙台市) 桃生中(石巻市)

笑顔あふれる楽しい時間

不動堂小



これがイチオシ

「キラニガ」やっつけろ

「キラニガ」は、朝会で校長先生の話に出てくる、一人一人の心の中にあるモンスターです。悪いことやいじわるが大好きで、私たちにもそうさせようと心の中で誘ってきます。

朝会では「研究結果」として、どうすれば対抗できるのかを話してくれます。私たちはみんなに優しく接することでキラニガを倒し、一人一人のWin-Winな関係を築くことを目的としています。勝つにはどうすれば良いかをみんなで話し合うことで、同じ目線で考えることができるのです。

学校名 美里町立不動堂小学校
所在地 美里町字峯山12の1
創立 1873年
電話 0229(32)2036
校長 伊藤 克宏
児童 473人

異学年で「不小タイム」

不動堂小学校では「不小タイム」という名前で異学年交流をしています。この活動は、たてわり活動とは少し違って、1年生と6年生が1対1のペア、2年生と5年生が2対2、3年生と4年生が4対4のグループで交流しています。上学年が毎回、ぬり絵やタブレット、かんたんゲームなどの遊びを考えて活動します。初めて行ったとき、お互いに少し緊張していて、目を合わせる事ができませんでした。このため、2回目は、上学年が「どう



異学年が交流する不小タイム。絵本の読み聞かせ(右上)、感謝の気持ちを伝える1年生(右下)、自己紹介する子どもたち(左上)、タブレット端末を教える6年生(左下)

編集委員 佐藤真希子、引地瞭介、石森佳乃、西條智仁、佐々木葵、半田好羽(3月卒業、中学1年) 指導教員 佐藤智輝